

こうふ町 議会だより



道の駅 奥大山 「グランブオーゾン」

議会の新体制決まる	2P～3P
6月定例会	4P
いっばん質問 町政を問う	5P～7P
私のひと言	10P

議会選出役職一覧表

◎委員長 ○副委員長

役職名	議員氏名
議長	川上 富夫
副議長	上原 二郎
総務経済常任委員会	◎田中 幹啓 ○三輪 英男 森田 智 上原 二郎 竹茂 幹根
教育民生常任委員会	◎越峠恵美子 ○三好 晋也 川端 雄勇 長岡 邦一 川上 富夫
議会運営委員会	◎川端 雄勇 ○長岡 邦一 森田 智 田中 幹啓 越峠恵美子
西部広域行政管理組合議会議員	川上 富夫
後期高齢者医療広域連合議会議員	川上 富夫
日野町江府町日南町衛生施設組合議会議員	森田 智 田中 幹啓 越峠恵美子
日野病院組合議会議員	川上 富夫 川端 雄勇
監査委員	長岡 邦一
庁舎等調査特別委員会	◎森田 智 ○三輪 英男 全 員
企業誘致調査特別委員会	◎川端 雄勇 ○三好 晋也 全 員
議会改革調査特別委員会	◎上原 二郎 ○越峠恵美子 全 員
議会広報調査特別委員会	◎上原 二郎 ○三好 晋也 川端 雄勇 川上 富夫 三輪 英男
奥大山農業公社役員	森田 智 越峠恵美子
消防委員会委員	川端 雄勇 三輪 英男 竹茂 幹根 三好 晋也
表彰審議会委員	田中 幹啓 長岡 邦一 上原 二郎
国民健康保険運営協議会委員	越峠恵美子 長岡 邦一 三好 晋也
奥大山地区観光施設審議会委員	越峠恵美子 上原 二郎 三好 晋也
社会教育委員会委員	越峠恵美子 三輪 英男 三好 晋也
集会所運営審議会委員	越峠恵美子 田中 幹啓 川端 雄勇
市民農園運営審議会委員	川端 雄勇 長岡 邦一
江府町介護保険及び地域包括支援センター運営協議会委員	越峠恵美子
江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会委員	越峠恵美子 田中 幹啓
明德学園理事	上原 二郎
民生委員推薦会委員	越峠恵美子 三好 晋也
江府町青少年有害図書審議会委員	越峠恵美子 三好 晋也
青少年育成江府町民会議	三好 晋也
公民館運営審議会委員	越峠恵美子 三輪 英男 三好 晋也
索道事業運営委員会	竹茂 幹根 三好 晋也

正・副議長、各常任委員 及び 議会運営委員決まる



議長 川上 富夫



副議長 上原 二郎

常任委員会委員構成

総務経済

(1)総務課・財務・産業経済・土木及び環境整備に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を掌る。



委員長
田中 幹啓
議会運営委員



副委員長
三輪 英男
議会運営委員



森田 智
議会運営委員



上原 二郎



竹茂 幹根

教育民生

(1)教育社会及び福祉保健に関する事務の調査並びに議案、請願、陳情等の審査を掌る。



委員長
越峠恵美子
議会運営委員



副委員長
三好 晋也



川端 雄勇
議会運営委員長



長岡 邦一
議会運営副委員長



川上 富夫

議員のうちから監査委員に**長岡邦一議員**が選任された。

代表監査委員の砂原和省さんと共に今後、活躍を期待します。

一般会計

補正額 2,054万円増額 (総額32億2055万円)

平成27年6月定例会は、6月10日に召集され16日までの7日間と定めて開かれた。今回の定例会には、条例の制定・改正が5件、補正予算が8件、その他2件の15議案が上程された。これらについて慎重に審議した結果、いずれも原案どおり可決した。

主な条例改正

・国民健康保険税条例の一部を改正する条例

・保険税の賦課限度額の改正

項目	改正前	改正後	差額
基礎賦課額	51万円	52万円	1万円増
後期高齢者支援金等賦課額	16万円	17万円	1万円増
介護納付金賦課額	14万円	16万円	2万円増

・中間所得層に配慮した軽減措置に改正

・国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成27年度の税率を医療分と後期高齢者支援金分は据え置き、介護給付

主な補正内容

金の内、資産割を8.8%から9%・均等割り1人当たり7600円から8000円に世帯割を4600円から5000円にするもの。

歳入

寄付金

ふるさと応援基金寄付金
400万円増

歳出

地域おこし支援事業費
笠原ファームの管理運営を行う協力隊員1名募集。

299万円
市民農園施設管理事業費

笠原ファームの屋根修理および燃料費等
195万円

6月臨時議会

6月24日臨時議会が招集され条例改正2議案が上程され、原案どおり可決した。

主な条例改正

・課室設置条例の一部を改正する条例
奥大山スキー場雪崩

事故の大方の対応が終ったことにより、奥大山スキー場管理課を廃止し、また農林課を農林産業課・企画財政課を企画情報課とし、住民窓口を1ヶ所にするよう、それぞれ事務分掌を整理した。



笠原原ファーム

町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長の方針をたどした



三好 晋也

教育施策の方向性について

問	身につく 道徳教育は
答	実践力を 育成する

質問 平成27年度から教育委員会制度が変わり、教育委員長と教育長を一本化した新教育長の設置、総合教育会議の設置、町長が直接教育長を任命することとなりました。

小学校、中学校の学習指導要領において道徳教育は、自分自身に関すること、他の人・自然や崇高なもの・集団や社会のかかわりに関することなどがうたわってあります。この内容を見る限り、江府小学校、江府中学校の児童生徒に対し十分な道徳教育ができています。

われませんが、高校、大学、社会人になるにつれて、それがなかなか実践されなくなってくる。つまり道徳教育が学校の中だけで終わり、しっかり身につけていないと思います。今後しっかり身につく道徳教育を実践するためには何をどう教えるべきか、町長、教育長の所見を伺う。

町長答弁

教育行政につきまして本年より新しい制度がスタートしました。本町の場合7月に総合教育会議を開き、意見のあった内容も含めしっかりと議論をし計画を作っていくと思っています。

教育長答弁

道徳教育の面から子供たちの現状を見たとき、社会全体や家庭や地域の変化、それに教育力の低下などから自制心や規範意識の希薄化、生命尊重の希薄化、基本的生活習慣の未確立、人間関係形成努力の弱体化などが言われています。そのために学校における道徳教育は、子供たちに道徳性を養うために、発達の段階に応じた指導や体験を通して確実に身につけさせることが重要です。

また学校だけでなく、子供たちが生活している家庭、地域とも連携して人間としてよりよいあり方、生き方が身につくよう道徳的実践力を育成する必要があります。



江府小学校授業風景

江府町まち・ひと・しごと 総合戦略について



三輪 英男

問	どこに軸足を置いていくか
答	人口減少のストップ

質問 現在、町総合戦略策定会議の作業部会が進行中だが現時点での町長の将来ビジョンに向けての軸足は。

また、どのようなスタンスで考えておられるか伺う。

町長答弁

町総合戦略のかなめは、人口減少ストップ、つまり持続可能な町、消滅自治体であってはならないと、だから人口を増やせと、その施策を考えなさいというのが基本です。

ただ、江府町の実情を

みれば高齢化率は大変高くなかなか人口を増やす事は至難の業です。しかし急激な減少は食い止め地域の活性化を促進しなければならぬと考えています。

問	地方創生人材支援制度について
答	自分たちで作るべきと判断

質問 江府町には日野総合事務所の担当者が江府町担当コンシエールとして配置してある。地方創生人材支援制度の適用も検討されたか伺う。

町長答弁

江府町担当コンシエールシユには大変良くやって

いただいています。

また、必要があれば国に直接その担当者、鳥取県担当に訪ねれば十分と思います。

その他外部の有識者会議も準備しており、専門的な知識が必要な時に必要な方に要請し、意見を伺う予定にしています。そういうことであえて公募にたいしては応募せず自分たちで計画を作るべきと判断しました。

問	宅地分譲について
答	地元としっかり協議する

質問 先般、実施された住民アンケートに、宅地分譲の候補地として従来から検討されていた、旧江府中学校の跡地については記述があったが旧明倫小学校の校庭部分については記述がなかった。跡地利用の変更を検討されたのか伺う。

町長答弁

従前から申し上げてい

るごあり宅地分譲という話もし、構想も話しました。しかし、旧明倫校区の皆さんとしっかり協議はしなければいけないと

いうことも申し上げています。

アンケートにつきましては限定的に書けなかったが変更はしていません。



旧江府中学校跡地

児童の放課後の対応は



竹茂 幹根

問	体育館の 使用料は
答	減免と なっている

質問 個人的に小学校の放課後の時間帯にテニスの基礎を教えている方がいます。放課後の学校敷地内のこのような指導はクラブ活動とか、あるいは生活指導とか学習指導等、どのような位置づけなのか伺う。又、体育館の利用料の請求についてその根拠を伺う。

教育長答弁

ソフトテニス教室は、学校の教育活動には入らないので、全く別の団体であり、クラブ活動ではありません。あくまでも

学校の管理下という場合には、学校が教育課程あるいは計画に基づく授業をしたとか、課外活動をしたとか、休憩時間であるとか、登校から下校までの通常の経路の通学などは学校の管理下となります。学校以外の団体が実施する活動に幾ら子供が参加していても、学校の管理下にはなりません。使用料については、学校施設を使用する場合には三つの条例があり社会教育関係団体であつて、しかも放課後の子供たちのための利用であるため、使用料は減免率10分の10であり、使用料としてはもらっていません。ただ、電灯料については、他の社会教育関係団体と同じく、江府小学校の体育館

は、1時間120円を基本額として徴収しています。



江府小学校下校風景

江府町議会議長提出案件処理報告

江府町議会議員政治倫理に関する調査請求

1. 平成27年2月26日江府町議会議員政治倫理に関する調査請求が連名で提出されたが、書類不備のため返却。
平成27年4月9日再提出受理
2. 提出者氏名：竹茂幹根・安田利憲・仲田睦生・加藤周二
3. 疑義があると認められた者
①江府町議会議員 田中幹啓
②江府町議会改革調査特別委員会委員長 上原二郎
4. 疑義の内容
①田中議員の平成26年4月24日議会改革調査特別委員会での、発言に対して再調査請求。
②上原議員が前回倫理委員会の審理で田中議員の言動を有利に導く画策を行ったという疑いがあるため。
5. 提出された調査請求に対して、平成27年5月28日江府町議会政治倫理審査会に調査を付託した。
6. 調査報告書

江府町議会議長
川上富夫 様

平成27年6月29日
江府町議会議員政治倫理審査会
会長 佐々木 満

調査報告書

1. 調査結果

平成27年5月28日議長から政治倫理審査会に調査請求のあった案件について平成27年6月8日江府町議会議員政治倫理審査会を開催し調査した。

調査の結果は田中議員が恫喝し（竹茂議員が）侮辱されたという件は前回の倫理審査会で審査し結果は報告している。

2件目上原二郎議員は、田中幹啓議員の発言に注意する義務を怠ったことと会議録に署名し倫理委員会の審理で田中議員を有利に導くための画策を行った疑いがあると江府町議会議員の政治倫理に関する規則3条の規定により調査請求されたが、提出資料と会議録音テープを精査した結果、上原委員長は注意義務を怠っておらず、また倫理委員会で田中議員の言動を有利に導くための画策は認められないと審査委員会は判断した。よって江府町議会議員政治倫理条例第3条1項に該当しない。

7. 議会対応

江府町議会議員政治倫理審査会の報告書を江府町議会は真摯に受け止め、全員協議会で確認了承した。

今後このような議員同士の案件等については、倫理条例を改正し議会で処理することを明記し、対応することを確認した。

日野町江府町日南町衛生施設組合第2回臨時会

6月5日臨時議会に於いて役員改選が行われた。

◎議長 中原 明（日野） ○副議長 荒木 博（日南）

◎総務常任委員長 森田 智（江府） ○副委員長：足羽 寛（日南）

◎監査委員 越峠恵美子（江府）

◇汚泥再処理センター建設請負について

国の循環型社会形成推進交付金を受けて、先般5月13日に一般競争入札を実施し、総合評価落札方式による公平かつ専門的知見に基づいた審査を行い、最も総合評価の高い日立造船㈱を落札者と決定した。

落札金額：16億1784万円 工期：平成29年11月まで

陳情の審査結果

提出のあった陳情は、6月定例議会で審査した結果、下記のとおり決定しました

件名	提出者	理由	本会議
治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める陳情	治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 鳥取県本部 会長 保田睦美	戦後70年になるが国の調査が進んでいない。適切に判断するため、調査に時間をかけたく継続審査とする。	継続審査 (全員一致)
集団的自衛権関連法案を国会に提出しないよう求める陳情	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	すでに国会に法案が提出されたため。	不採択 (全員一致)
集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対するよう求める陳情	憲法改悪反対鳥取県共同センター 代表 田中 暁	国会で審議中であり学者等から色々疑義が出ている。審議の内容を精査する必要があるため。	継続審査 (全員一致)
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 本川博孝 江府町職員組合 執行委員長 原田浩司	地方自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、環境対策など安心安全な町づくりのためには、地方財政の確立を目指す必要があるため。	採 択 (全員一致)

全国町村議会議長・副議長研修会

～これからの町村議会を考える～

本年度の全国町村議会議長・副議長研修会が5月26・27日に東京・中野サンプラザで開催された。特に今年のシンポジウムは日南町議会の村上議長を始め、全国5か町村議会が、パネリストとして発表され、議会の先進的な取り組みについて貴重な意見が出された。また、鳥取県下の町村議長・副議長で情報交換会を実施し、各町村の問題点を議論し、今後の議会改革・運営に大いに役立つこととなった。

日野病院組合議会臨時会

平成27年6月29日

役員改選の議案が提出され、新議長が選出された。

議長 小谷 博徳 (日野町議長)

副議長 中原 信男 (日野町副議長)

運営委員会

委員長 佐々木 求 (日野町議会議員)





四季礼讃

井上 裕吉

宿昔青雲志 40数年ぶりに帰郷しました。玉ねぎの皮を1枚1枚むくかのよう

校生で80分間の試合時間中、中盤の選手で10kmは走ると言われています。審判はプレーに近いところで笛を吹かなければなりません。そのため一定水準の体力が求められています。

私が走る町内のコースは視・聴・触・嗅のすべてで四季を感じる事ができます。「春は花」のとおり白黒の世界が去り、待ち焦がれた心ときめく中を走ります。旧明倫小学校の今年も花をつけた老桜。畦刈の草のにおいを感じながら洲河崎野をめぐると。視界は時間とともに茶色から淡緑・濃緑と移りゆく。そして秋、黄金色に染まる中をコンバインが動き、刈後にたたくむ人々を見る。遠景には大山の南壁。「落穂拾い」に匹敵する光景です。晩秋になると一旦の堰堤付近では瓜坊が先導することもあります。総合運動公園の銀杏の葉が散り始めた遊歩道ではパキパキと銀杏の実をふみ砕くリズムを刻みます。再び白黒の世界。「冬雪さえて冷しかりけり」新雪さ中にわが足跡をつける。自分道をつけたという子供時代に感じたとも高揚した気持で走ることが出来ます。私はこのような故郷の明瞭な四季がとてもしおもしろいものと思えてなりません。



子どもたちとの日々

加持谷 智子

縁あって町内の図書館で働いています。主に小学校の図書室で児童と本をつなぐサポートをしているので子どもたちと交流する機会が多くいろいろな話をします。日々の出来事に始まりピノや手芸など趣味の話、お笑いの話や怖い話、戦国時代の話、ダンスに手話、目や輝かせながら話してくる、そういう場面では、子どもと大人の境界線が緩むような不思議な感じになることがしばしばあります。

……間違っています。けれどもある意味正しい。確かに口は辛いのもともあるのです。災いのもともだからと言つてよいことまで口をつぐんでしまつてはもつたいたい。プラスになることはない。どん言うべきなのかもしれない。私にとつては目から鱗が落ちるような一言でした。私が感動している横で、宿題の終わつた二年生のRちゃん「はクールに」どつこいし「ういち」と呟やきながら重たいランドセルを背負い、西日の差す中帰つていきました。なんだかすく記憶に残る時間でした。子どもたちから学ぶことはとてもたくさんあります。いちばんよく感じることは、彼らが一生懸命だということです。運動会をがんばつてい姿とか水泳練習をがんばつてい姿とか、いろいろなことに取り組む姿を見て、自分が小学生だったころはこんな風だっただろうか？と、軽い負い目や嫉妬すら覚えます。一生懸命なのは児童だけでなく、先生や家族、地域の方々、子どもにかかわるすべての人たちです。その姿に感化されています。もうすぐ夏休み。きつと子どもたちはいろいろな体験をしても、また大きくなる彼、彼女らが、これからの人生なことを教えてくれるのか楽しみでいっぱいです。



▼田植えも終わりほつと一息付き、日に日に大きく育つ苗が、大山をバックに鮮やかな緑のじゆうたんとなる季節となりました。草刈、水見をし、2ヶ月もしないうちに黄金色に代わり収穫を迎えます。▼江府町議会も、任期4年の半分が終わり、折り返しの時期となりました。其々議員の役割も決まり、気持ちも新たに努めています。

▼5人の力を合わせ、議会が何をしているのか出来るだけわかり易く伝え、住民の皆様信頼して頂く一助となる様努力してまいります。

上原

議長	上原 二郎
副議長	三好 晋也
委員	川端 雄勇
委員	三輪 英男
委員	川上 富夫